

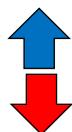
# 児童アンケート結果

	質問項目		R5前期					R4前期	増減
			A	B	C	D	A+B	A+B	
生徒指導 他	1 学校へ行くのは楽しい。	人数	39	18	2	0	57	49	↑
		%	66.1	30.5	3.4	0.0	96.6	86.0	
	2 自分には、よいところがあると思う。	人数	33	25	0	1	58	48	↑
		%	55.9	42.4	0.0	1.7	98.3	84.2	
	3 自分の役割に責任をもち、仕事をがんばっている(委員会 クラスの係活動 そうじ 給食当番)。	人数	49	9	1	0	58	55	→
		%	83.1	15.3	1.7	0.0	98.3	96.5	
	4 自分の目標に向かって、努力している(夢の木 目標やめあて)。	人数	44	15	0	0	59	54	↑
		%	74.6	25.4	0.0	0.0	100.0	94.7	
5 友だちとなかよくしたり助け合ったりしている。	人数	37	14	1	1	51	55	→	
	%	69.8	26.4	1.9	1.9	96.2	96.5		
6 友だちにいやなことをしたりいじめたりしていない。	人数	44	12	1	2	56	50	↑	
	%	74.6	20.3	1.7	3.4	94.9	87.7		
7 地域や家庭、学校であいさつができています。	人数	48	9	1	1	57	54	→	
	%	81.4	15.3	1.7	1.7	96.6	94.7		
8 学校のきまりを守っている(廊下を走らない。給食は、静かに食べる等)。	人数	33	19	5	2	52	50	→	
	%	55.9	32.2	8.5	3.4	88.1	87.7		
学力向上・ 学校研究	9 チャイムと同時に号令・ベル学・ふり返りができている。	人数	32	23	4	0	55	52	→
		%	54.2	39.0	6.8	0.0	93.2	91.2	
	10 話すルールができています(友だちに向かって位置を変えて話す)。	人数	41	16	1	1	57	56	→
		%	69.5	27.1	1.7	1.7	96.6	98.2	
	11 聞くルールができています(友だちの話を体を向けて最後まで聞く)。	人数	43	11	3	2	54	54	↘
		%	72.9	18.6	5.1	3.4	91.5	94.7	
12 授業では、友だちや先生と課題をつくれるようになってきた。	人数	38	20	0	0	58	53	↑	
	%	65.5	34.5	0.0	0.0	100.0	93.0		
13 自分の考えをノートに書いたりまとめたりすることができるようになった。	人数	27	13	6	0	40	46	↓	
	%	58.7	28.3	13.0	0.0	87.0	95.8		
14 朝学習やドリルタイムでの活用問題が、解けるようになった。	人数	38	13	3	2	51	50	↗	
	%	67.9	23.2	5.4	3.6	91.1	87.7		
授業	15 授業は分かりやすい。	人数	48	10	0	1	58	52	↑
		%	81.4	16.9	0.0	1.7	98.3	91.2	
	16 先生は、分からないことがあると、ていねいに教えてくれる。	人数	52	5	1	1	57	55	→
%		88.1	8.5	1.7	1.7	96.6	96.5		
17 先生は、ほめたり、はげましたりしてくれる。	人数	45	12	1	1	57	56	→	
	%	76.3	20.3	1.7	1.7	96.6	98.2		
家庭学習	18 学習したことが、よく分かるようになるための自学ノートを書いている。	人数	20	20	4	2	40	38	↑
		%	43.5	43.5	8.7	4.3	87.0	79.2	
19 時間を決めて計画的に家で宿題をしている。	人数	30	18	6	4	48	42	↑	
	%	51.7	31.0	10.3	6.9	82.8	73.7		
表現力	20 授業や行事で自分のまとめたことや練習したことを発表できた。	人数	40	16	3	0	56	53	→
		%	67.8	27.1	5.1	0.0	94.9	93.0	

※ 表中の A ~ D については、以下の通りです。

A : あてはまる B : どちらかといえばあてはまる C : どちらかといえばあてはまらない D : あてはまらない

※ 矢印は、肯定的回答 (A+B) の増減を表しています。



5ポイント以上 上昇

5ポイント以上 下降



3～5ポイント上昇

3～5ポイント下降



同程度

#### <生徒指導 他>

質問項目1「学校へ行くのは楽しい」2「自分にはよいところがある」4「目標への努力」6「友だちにいやなこと等をしない」では、肯定的回答が前回調査に比べて5ポイント以上あがりました。また、その他の項目につきましても、肯定的回答が9割前後と高い水準を維持しています。今後も肯定的回答が高い水準で推移していくよう児童に働きかけていきます。

#### <学力向上・学校研究>

質問項目9～12「学力向上・学校研究」に関わる項目では、「ベル学の習慣」や「話す・聞くルール」、「課題づくり」などで、肯定的回答が9割以上の高い水準で定着しています。また、質問項目14「活用問題」においては、カリキュラムに応じて計画的に取り入れてきたことで効果が上がり、自信を持って問題に取り組む児童が増えました。しかしながら、質問項目13「自分の考えの記述」では、昨年度に比べてポイントを下げています。児童は授業においては、課題に対して、タブレットを活用して調べたり、自分の考えを話し合ったり、考えたことやまとめたことを記述したりと様々な活動をしています。授業で児童にまとめを書く時間を保障するなどして、書く力も強化されるよう取り組んでいきたいです。

#### <授業>

質問項目15「授業がわかりやすい」では、肯定的回答の割合が大きく上がりました。今後もこのような結果が続くよう、そして全ての児童が「授業がわかりやすい」と感じられるよう、職員全員で授業研究や個別指導に努めていきたいと思えます。

#### <家庭学習>

質問項目18「自学ノート」19「計画的な宿題への取組」では、どちらも昨年度から5ポイント以上肯定的回答の割合を伸ばしました。ご家庭における適切な励まし・声かけのおかげと存じます。学校におきましても、よい自学ノートの紹介等、効果的な取組を継続して実施していきます。